

Vol.4

市販薬の飲み過ぎ「オーバードーズ」に要注意

毎日を生き生きと暮らすためには、健康であることが欠かせません。健康を保つためには食事や運動、睡眠などの生活習慣に気を付けることが大切です。しかし、風邪を引いたりお腹が痛くなったりすることがあるでしょう。そういうた比較的軽い症状の場合、自らの判断で市販薬を利用して

症状を緩和し、自然治癒を促すことができます。これをセルフメディケーションと言います。市販薬を利用する際に気を付けていただきたいのが薬の説明書(添付文書)を確認することです。説明書には使用上の注意や「1回1錠」、「1日2回まで」など服用方法が必ず記載されています。この

決められた用法・用量などをきちんと守ることがどちら大切で、症状が良くならないからといって自己判断で飲む量や回数を増やすことは、症状の悪化や中毒症状を起こしてしまいます。

まずにはいられない依存状態に陥って健康を害してしまう事例が増えています。これは大麻や覚せい剤などの薬物依存と同様の状態です。さらに最近では、意識的に市販薬を大量に服用する「オーバードーズ」を繰り返す若者が急増していると報告されています。このような医薬品の不適切な使用を防ぐため、薬局などでは濫用等のおそれがある成分を含んだ市販薬について購入数を制限

するなどの対策を行っています。ご自身やご家族が濫用をやめられないなどの悩みがある場合には、お近くの薬局・薬剤師までご相談ください。



こちらも
チェック

薬物乱用防止に係る取組み

公益社団法人 日本薬剤師会

